

子供と遊戯活動について (II)

——日常の生活と親の心がけを中心に——

The Influence of the Daily Life and Parents' Nurturing on Children's Play

(1990年4月9日受理)

土谷由美子 谷本 満江 荒木タミ子
Yumiko Tsuchiya Michie Tanimoto Tamiko Araki

Key words: 遊戯活動, 日常生活, 心がけ

はじめに

子供の生活は、時代とともに変容するものである。それは、子供を取り巻く環境の変化によるものであり、それとともにあそびも変化してきたのではないだろうか。

子供のときに、豊かなあそびの体験を持ち、想像の楽しみと、創造の喜びを十分に経験することができた子供は、心身ともに健康で、豊かな人に育つであろう。たとえ、一時期それらが抑制されたとしても、再び好ましい状況におかれたならば、創造性の回復は容易にもたらされるであろう。

幼児期の子供の遊戯活動と、そこで育まれる創造性には、親のあそびについての考え方や、家庭環境の整え方が密接に関連していると考えられる。又、子供の基本的な生活能力は、家庭における日常的な積み重ねの中から形成されるものである。今回は、子供の日常の生活と親の心がけを中心に遊戯活動について検討したので報告する。

研究方法

研究対象は、岡山・倉敷市内の3保育園、4才児～6才児358名（男児195名、女児163名）と、その両親である。（第1表参照）

時期については、昭和63年10月～11月に調査した。それぞれの園を通じてアンケートによって調査を行い、全ての親に記入を依頼した。

調査内容については、子供を中心とした生活環境、家庭における活動を10項目、両親について音楽・スポーツに関する6項目、子供の遊戯活動に関する11項目、計27項目の調査であった。

表1 標本数

年齢	性	男 児	女 児	計
4 才		71	56	127
5 才		75	59	134
6 才		49	48	97
計		195	163	358

研究成績

1. 両親及び子供に関する各項目、性別、年齢別割合

第2表は子供に関する日常生活、音楽関係、スポーツ関係項目の性別、年齢別の割合を示したものである。

表2 子供に関する各項目、性別、年齢別割合(%)

項	目	4才		5才		6才		全体		
		男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児	
日常生活	食欲	ある	38.6	44.6	53.4	40.4	44.9	36.0	45.9	40.5
		ふつう	51.4	50.0	41.3	54.4	49.0	62.0	46.9	55.2
		ない	10.0	5.4	5.3	5.2	6.1	2.0	7.2	4.3
	寝つき	よい	49.3	46.4	60.8	39.7	79.6	66.0	61.3	50.0
		ふつう	40.9	42.9	35.1	53.5	18.4	26.0	33.0	41.5
		わるい	9.8	10.7	4.1	6.8	2.0	8.0	5.7	8.5
	一日のテレビ(ゲーム)視聴時間	30分以内	6.5	3.5	5.1	5.2	6.0	7.9	5.9	5.4
		30分～1時間	25.0	44.8	25.6	36.2	28.6	23.5	26.1	35.3
		1～2時間	38.2	37.9	41.1	36.2	38.8	39.2	39.4	37.7
		2～3時間	21.1	8.6	20.5	19.0	18.4	25.5	20.2	17.4
		3時間以上	9.2	5.2	7.7	3.4	8.2	3.9	8.4	4.2
	行動	活発	52.9	58.9	59.7	48.3	60.4	34.0	57.4	47.6
ふつう		47.1	37.5	38.9	50.0	39.6	64.0	42.1	50.0	
おとなしい		0	3.6	1.4	1.7	0	2.0	0.5	2.4	
音楽活動	おけいこ実施率(音楽)	している	5.8	20.0	13.4	39.7	14.3	67.4	10.8	40.9
		過去にしていた	0	0	1.5	3.4	0	0	0.5	1.2
		していない	94.2	80.0	85.1	56.9	85.7	32.6	88.7	57.9
	音楽視聴時間	全く聴かない	15.2	15.6	16.2	17.9	13.6	20.5	15.2	17.9
		30分以内	69.7	56.9	57.4	58.9	61.4	59.0	62.9	58.6
		30分～1時間	12.1	27.5	23.5	21.4	20.5	20.5	18.5	23.5
		1～2時間	3.0	0	2.9	1.8	4.5	0	3.4	0
		2～3時間	0	0	0	0	0	0	0	0
		3時間以上	0	0	0	0	0	0	0	0
	楽器使用時間	全く使わない	63.5	26.0	53.1	20.7	31.8	6.5	51.5	18.2
		30分以内	31.8	58.0	37.5	67.2	50.0	69.6	38.6	64.9
		30分～1時間	4.7	16.0	9.4	12.1	18.2	17.4	9.9	14.9
1～2時間		0	0	0	0	0	6.5	0	2.0	
2～3時間		0	0	0	0	0	0	0	0	
歌唱	よく歌う	39.1	75.0	43.1	66.7	39.1	56.3	40.6	66.2	
	ふつう	52.2	25.0	51.4	31.6	54.4	43.7	52.4	33.1	
	歌わない	8.7	0	5.5	1.7	6.5	0	7.0	0.7	

項	目	4才		5才		6才		全体		
		男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児	
スポーツ	おけいこ実施率(スポーツ)	している	25.0	27.3	22.5	22.4	32.0	25.0	25.9	24.8
		過去にしている	1.5	0	2.8	3.5	2.0	4.5	2.1	2.6
		していない	73.5	75.7	74.7	74.1	66.0	70.5	72.0	72.6
	ボールゲーム(サッカー・野球)ドッジボール	好き	35.8	10.0	26.4	5.5	43.4	6.1	34.1	7.1
		ふつう	41.8	50.0	44.4	41.8	28.3	34.7	39.5	42.2
		好まない	22.4	40.0	29.2	52.7	28.3	59.2	26.4	50.7
	静的あそび(砂あそび・積木)	好き	79.7	76.9	72.5	60.7	66.0	62.0	76.2	66.5
		ふつう	18.8	19.2	17.8	35.7	31.9	38.0	21.7	31.0
		好まない	1.5	3.9	2.7	3.6	2.1	0	2.1	2.5
	固定遊具(ブランコ・鉄棒)スベリ台	好き	63.3	82.7	58.3	73.7	48.9	68.0	57.4	74.8
		ふつう	33.3	17.3	38.9	24.6	44.7	32.0	38.3	24.5
		好まない	4.4	0	2.8	1.7	6.4	0	4.3	0.7
ごっこあそび(鬼ごっこ・かけっこ・かくれんぼ)	好き	55.9	46.2	56.2	48.3	40.0	48.0	52.2	47.5	
	ふつう	38.2	48.1	35.6	44.6	57.8	42.0	41.9	44.9	
	好まない	5.9	5.7	8.2	7.1	2.2	10.0	5.9	7.6	
ボールなわあそび	好き	47.8	48.1	42.5	56.1	42.6	53.2	44.4	52.6	
	ふつう	44.9	48.1	45.2	40.4	44.7	44.7	45.0	44.2	
	好まない	7.3	3.8	12.3	3.5	12.7	2.1	10.6	3.2	
三輪車自転車あそび	好き	72.9	73.1	74.0	63.2	80.9	70.0	75.3	68.6	
	ふつう	21.4	25.0	23.3	35.1	17.0	28.0	21.1	29.6	
	好まない	5.7	1.9	2.7	1.7	2.1	2.0	3.6	1.8	
ごっこあそび	好き	41.2	57.7	42.5	73.2	27.7	76.0	38.3	69.0	
	ふつう	42.7	40.4	46.6	26.8	57.5	24.0	47.9	30.6	
	好まない	16.1	1.9	10.9	0	14.8	0	13.8	0.4	
友達とあそぶ	よくあそぶ	72.9	71.2	78.6	80.7	80.9	84.0	77.0	78.6	
	ふつう	24.3	28.8	18.6	17.5	19.1	16.0	20.9	20.8	
	あそばない	2.8	0	2.8	1.8	0	0	2.1	0.6	

日常生活における食欲の項目については、男児の方が女児よりも食欲がないという子供が多く、特に4才男児では10%もあり、女児は男児の半数であった。6才児においても男児の方が女児よりも食欲のない児が多く、女児はわずか2%であった。寝つきでは、男児が加齢にしたがい寝つきがよくなっており、6才児では80%と高頻値であった。5才～6才児に性差がみられた。行動の活発性においても、男児が加齢にしたがい頻値が高くなった。女児では、加齢するほど低くなっていた。寝つきと行動の項目については、男児が同じ傾向であった。1日のテレビ視聴の項目については、男女児とも30分～2時間の視聴が高く全体の70%であった。特に6才の女児の2時間～3時間視聴が25%と高くなっているのがめだつた。音楽のおけいこ実施では、女児が40%と高く、特に6才女児は70%と高頻値であった。スポーツのおけいこ実施では、性差はないが男児は加齢するほど高くなっていた。音楽を聴く時間では、男女児ともに30分以内が60%と高かった。男児の1～2時間が4才児～6才児の各年令に3%いた。楽器を使う時間では、男児の楽器を使用しないが50%、女児は20%とかなりの性差がみられた。6才の女児では、楽器を使用しない児と1～2時間楽器を使用する児が6.5%と同じであり、6才女児のみ1～2時間楽器を使用していた。家でよく歌うでは、男児より女児の方がよく歌っていたが、女児は加齢にしたがい値が低くなっていた。歌わないのは男児が全体的に7%、女児が0.7%と女児に比し男児が多かった。あそびの内容では、サッカー、野球、ドッジボールは男児のよくあそぶが女児に比し高く性差がみられた。ブランコ、鉄棒、すべり台などの固定遊具では、加齢にしたがい男女児ともに減少傾向にあった。おにごっこ、かくれんぼ、かけっこでは、6才男児が2%、女児が10%しないと答えていた。ボール、なわあそびでは、5、6才児が50%以上がよくするであり、5、6才男児は12%の児がしないで女児に比し高かった。三輪車、自転車のりあそびでは、各年令において男女児ともに70%以上の高頻値であった。ごっこあそびでは、女児が加齢にしたがいよくするというのが高く、男児は6才児において28%と低くなっており、性差、年令差がみられた。友達とあそぶでは、男女児ともによく遊ぶが加齢にしたがい高くなっていた。

両親に関する項目別割合において、第1図は両親の年令、第3表は家庭環境、音楽・スポーツ活動の割合を示したものである。

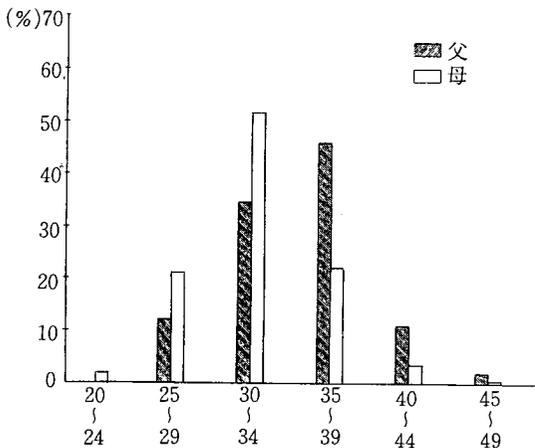


図1 両親年齢別割合

表3 両親に関する項目別割合

項目		全体
共働き	している	68.2
	していない	31.8

項目		父	母
現在実施率	音楽活動	している	9.0
		していない	91.0
	スポーツ活動	している	40.7
		していない	59.3

父親の年令においては30代後半、母親においては30代前半に高い分布を示していた。家庭環境では、70%の親が共働きであった。親の現在音楽・スポーツ活動実施率では、スポーツをしている父親が40%であった。又、音楽よりスポーツ活動している親の方が高頻値であった。

子供と遊戯活動について (II)

親子単位に関する項目別割合において、第4表は親が日常一番心がけていること、親子活動、音楽鑑賞、スポーツ観戦、0～3才までに歌ってあげた、あそび相手の年令別、性別の割合を示したものである。

親が日常一番心がけていることでは、男児は健康が57%と高く、女児はしつけが42%であった。親子活動では、父の音楽を一緒にしないが50%以上であった。母と音楽を一緒にする男児は加齢にしたがい多くなり、女児は少なくなっていた。スポーツを一緒にするのは音楽と一緒にするよりも父のかかわり度が高かった。全体的に男女児の父母のかかわりは同じだった。音楽鑑賞では、女児が加齢するごとに高くなっており、音楽鑑賞もスポーツ観戦も6才女児が高かった。0～3才までに歌ってあげたのでは男女児とも高く90%以上の親が歌ってあげていた。あそび相手では、兄弟、姉妹とあそぶのは男女児とも60%と多いが、男児は加齢するにしたがい高くなっていった。父母とあそぶのは、男児は父と女児は母とあそぶが高くなっていった。祖父母とあそぶのは、4才児が男女児ともに高く加齢にしたがい少なくなっていた。

表4 親子単位に関する各項目、性別、年令別割合 (%)

項 目			4 才		5 才		6 才		全 体		
			男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児	
日常の心がけ			健康	55.4	33.3	53.5	18.4	64.1	37.1	56.5	33.9
			しつけ	26.5	46.7	32.4	57.1	20.5	48.6	27.5	42.2
			親の姿勢	18.1	20.0	14.1	24.5	15.4	14.3	16.0	23.9
親子 単位 実施 率	音楽 活動	父	よくする	6.0	7.4	8.6	7.3	9.1	0	7.7	5.1
			ふつう	37.9	38.9	34.3	29.1	34.1	41.7	35.6	36.3
			しない	56.1	53.7	57.1	63.6	56.8	58.3	56.7	58.6
		母	よくする	14.3	32.1	15.3	29.8	25.5	22.5	17.5	28.3
			ふつう	48.6	49.1	47.2	45.6	40.5	46.9	46.0	47.2
			しない	37.1	18.8	37.5	24.6	34.0	30.6	36.5	24.5
	スポ ー ツ 活 動	父	よくする	20.3	20.8	12.9	7.0	18.2	22.9	16.9	16.5
			ふつう	43.5	39.6	45.7	49.1	40.9	43.8	43.8	44.3
			しない	36.2	39.6	41.4	43.9	40.9	33.3	39.3	39.2
		母	よくする	11.6	11.1	15.7	10.2	12.5	22.0	13.4	14.1
			ふつう	53.6	55.6	48.6	52.5	47.9	50.0	50.3	52.8
			しない	34.8	33.3	35.7	37.3	39.6	28.0	36.3	33.1
音楽鑑賞			している	21.4	21.4	25.0	34.5	25.5	51.0	23.8	35.0
			していない	78.6	78.6	75.0	65.5	74.5	49.0	76.2	65.0
スポーツ観戦			している	18.8	21.4	23.6	22.0	22.9	33.3	21.7	25.2
			していない	81.2	78.6	76.4	78.0	77.1	66.7	78.3	74.8
0～3才に歌う			よく歌う	94.2	96.2	90.4	87.7	89.4	86.0	91.5	89.9
			歌わない	5.8	3.8	9.6	12.3	10.6	14.0	8.5	10.1
あ そ び 相 手	兄弟・姉妹	よくあそぶ	55.9	56.3	58.0	61.8	60.9	56.3	57.9	58.3	
		ふつう	39.7	37.5	30.4	32.7	32.6	41.7	34.4	37.1	
		あそばない	4.4	6.2	11.6	5.5	6.5	2.0	7.7	4.6	
	父	よくあそぶ	68.1	56.9	54.3	53.7	55.6	40.8	59.8	50.7	
		ふつう	29.0	41.2	40.0	40.7	37.8	51.0	35.6	44.2	
		あそばない	2.9	1.9	5.7	5.6	6.6	8.2	4.9	5.1	
	母	よくあそぶ	60.9	68.0	47.3	67.9	42.2	50.0	51.1	62.2	
		ふつう	39.1	32.0	44.4	32.1	53.4	48.0	44.6	37.2	
		あそばない	0	0	8.3	0	4.4	2.0	4.3	0.6	
	祖父母	よくあそぶ	41.2	48.0	38.9	32.7	20.4	28.0	35.3	36.1	
		ふつう	45.6	42.0	44.4	52.7	52.3	46.0	46.8	47.1	
		あそばない	13.2	10.0	16.7	14.6	27.3	26.0	17.9	16.8	

2. 遊戯活動と日常生活についての検討

表5 子供の遊戯活動(おけいこ)と日常生活の関連

子供の遊戯活動, 両親の遊戯活動, 親子単位の遊戯活動と子供の日常生活との関連を χ^2 検定により検討した。それぞれの分布は第5表~第11表に示したとおりである。

第5表~第7表は子供の遊戯活動を中心に日常生活の関連をみたものである。女兒の音楽のおけいこにおいてテレビ視聴時間の項目に5%レベル, 楽器使用時間において男児の食欲と寝つきの項目に5%レベルで有意な差が認められた。スポーツのおけいこ, あそびの内容においては, 男女児ともに有意な分布差はみられなかった。

子供の日常生活		男 児				女 児			
		音 楽 おけいこ		ス ポー ツ おけいこ		音 楽 おけいこ		ス ポー ツ おけいこ	
		している	していない	している	していない	している	していない	している	していない
食 欲	ある	4.8	41.3	13.9	32.1	14.1	27.6	11.5	28.0
	ふつう	5.8	40.7	10.7	35.8	25.6	28.2	11.5	44.6
	ない	1.0	6.4	1.1	6.4	1.9	2.6	0.6	3.8
	χ^2 検定								
寝 っ ぎ	よい	8.6	53.2	17.7	44.6	22.2	27.2	13.9	34.8
	ふつう	3.2	29.6	7.5	24.2	15.4	26.5	8.9	33.5
	わるい	0	5.4	0.6	5.4	3.1	5.6	1.3	7.6
	χ^2 検定								
テ レ ビ 視 聴	30分以内	1.5	4.6	1.5	4.0	3.7	1.2	1.3	3.8
	30分~1時間	3.5	22.7	5.1	20.2	13.0	21.1	7.0	26.5
	1~2時間	3.5	36.4	9.6	30.3	11.8	26.8	9.5	29.0
	2~3時間	2.5	15.7	7.1	12.6	11.2	7.5	5.1	13.3
	3時間以上	0.5	9.1	2.0	7.6	1.2	2.5	1.3	3.2
	χ^2 検定			※					
行 動	活発	7.1	50.6	16.5	41.8	24.6	33.6	14.6	40.1
	ふつう	3.9	37.9	8.2	33.0	13.5	25.8	9.6	33.8
	おとなしい	0	0.5	0.5	0	0.6	1.9	0	1.9
	χ^2 検定								

※p<0.05

表6 子供の遊戯活動(音楽を聴く・楽器を使う)と日常生活の関連

子供の日常生活	男 児				女 児				
	音 楽 を 30~1時間 聴かない		楽 器 を 30~1時間 使わない		音 楽 を 30~1時間 聴かない		楽 器 を 30~1時間 使わない		
	音楽を聴く	使わない	楽器を使う	使わない	音楽を聴く	使わない	楽器を使う	使わない	
食 欲	ある	5.2	40.7	18.7	27.5	7.0	31.5	8.1	31.1
	ふつう	9.3	36.6	28.1	17.5	9.8	46.8	8.8	47.9
	ない	0.6	7.6	4.7	3.6	0.7	4.2	0	4.1
	χ^2 検定			※					
寝 っ ぎ	よい	8.8	52.1	27.1	34.1	9.8	37.8	8.2	40.8
	ふつう	5.9	26.9	20.6	12.9	5.6	39.1	8.8	34.7
	わるい	0.4	5.9	4.1	1.2	1.4	6.3	0	7.5
	χ^2 検定			※					
テ レ ビ 視 聴	30分以内	1.7	3.3	3.3	3.3	0.7	4.9	4.2	6.3
	30分~1時間	4.4	20.3	11.1	14.4	4.2	28.7	6.3	23.8
	1~2時間	6.0	35.2	19.9	21.6	7.7	29.3	5.6	30.0
	2~3時間	1.0	17.6	9.9	7.2	4.2	14.7	3.5	14.7
	3時間以上	2.8	7.7	6.6	2.7	0.7	4.9	2.1	3.5
	χ^2 検定								
行 動	活発	8.3	50.6	29.5	29.5	9.1	44.1	9.5	44.2
	ふつう	7.7	32.7	22.9	17.5	8.4	35.6	6.8	36.8
	おとなしい	0	0.7	0.6	0	0	2.8	0.7	2.0
	χ^2 検定								

※p<0.05

表7 子供の遊戯活動(運動あそび)と日常生活の関連

子供の日常生活	運 動 あ そ び			女 児			
	男 児		女 児	女 児		女 児	
	固定遊具	ボ ー ル なわあそび	自 転 車 三 輪 車	固定遊具	ボ ー ル なわあそび	自 転 車 三 輪 車	
食 欲	ある	16.3	13.6	20.8	15.4	11.1	14.4
	ふつう	13.9	9.0	19.0	21.8	14.4	19.0
	ない	2.1	2.1	3.2	1.3	1.0	1.6
	χ^2 検定						
寝 っ ぎ	よい	20.8	16.3	27.8	18.9	15.3	19.9
	ふつう	10.0	7.9	13.3	15.6	9.1	12.1
	わるい	1.5	0.6	1.8	3.9	2.3	2.9
	χ^2 検定						
テ レ ビ 視 聴	30分以内	3.1	0.6	2.0	2.3	1.0	1.0
	30分~1時間	7.9	7.3	10.7	14.0	9.2	12.1
	1~2時間	11.8	9.3	18.3	13.4	10.5	14.0
	2~3時間	6.2	5.1	8.4	7.5	4.9	6.5
	3時間以上	3.1	2.5	3.7	1.0	1.0	1.6
	χ^2 検定						
行 動	活発	19.3	18.1	27.4	24.2	17.3	22.2
	ふつう	12.8	6.5	15.9	13.4	8.5	12.1
	おとなしい	0	0	0	1.0	0.6	0.7
	χ^2 検定						

第8表、第9表は両親の現在の遊戯活動を中心に子供の日常生活を示したものである。

男児については、父親の音楽活動と母親の音楽活動と寝つきの項目において、それぞれ10%レベルで有意性がみられた。女兒においては、父親の音楽活動と寝つきの項目に7%レベル、母親の音楽活動とテレビ視聴時間の項目においては5%レベルの有意差がみられた。又、父親のスポーツ活動と女兒のテレビ視聴時間、行動の活発性の項目において、それぞれ5%レベルの有意差が認められた。両親の遊戯活動と男女児の食欲の項目においては、有意な分布はみられなかった。特に女兒よりも男児に両親のスポーツ活動と日常生活との関連に有意な分布差はみられなかった。

第10表、第11表では、親子単位の遊戯活動を中心に子供の日常生活との関連をみたものである。父親と一緒に音楽活動をするにおいては、男児の寝つきの項目は10%レベルで有意性がみられた。母親と一緒に音楽活動をするに女兒のテレビ視聴時間の項目において0.1%、男児の食欲、行動の活発性の項目において7%、5%レベルでそれぞれ有意に差があった。父親と一緒にスポーツ活動をするにおいては、男児で寝つきの項目で10%、テレビ視聴時間の項目に7%、行動の活発性の項目に1%レベルの有意差がみられた。又、母親と一緒にスポーツ活動をするに於いて男児の行動の活発性の項目に5%レベルで有意な差があった。女兒の食欲、寝つき、行動の活発性の項目については、有意な分布差がみられなかった。

表8 両親の遊戯活動（音楽活動）と日常生活の関連

親の活動 子供の日常生活		男 児				女 児			
		父		母		父		母	
		している	していない	している	していない	している	していない	している	していない
食 欲	ある	6.2	38.8	3.8	40.9	3.2	37.0	3.2	37.3
	ふつう	5.4	43.8	2.7	45.2	3.9	51.4	5.2	49.9
	ない	0.5	7.3	0.4	7.0	0	4.5	0	4.4
	χ^2 検定								
寝 っ ぎ	よい	7.9	53.7	6.5	55.1	2.6	47.1	4.5	44.5
	ふつう	1.7	31.6	0.5	33.0	2.6	39.3	3.9	38.7
	わるい	0.6	4.5	0	4.9	1.9	6.5	0	8.4
	χ^2 検定			△		○			
テ レ ビ 視 聴	30分以内	1.0	5.8	0	6.6	0.7	4.6	1.3	4.5
	30分～1時間	1.6	24.3	1.5	25.0	2.6	32.0	5.8	28.8
	1～2時間	4.3	32.8	2.6	35.7	3.3	34.6	0.7	36.5
	2～3時間	1.6	19.1	2.0	17.9	0.7	17.6	0.7	17.9
	3時間以上	1.0	8.5	0.5	8.2	0	3.9	0	3.8
χ^2 検定							※		
行 動	活発	6.4	49.7	5.5	51.9	5.8	51.2	5.2	51.6
	ふつう	3.5	39.9	2.2	39.9	1.3	38.9	3.2	38.1
	おとなしい	0	0.5	0	0.5	0	2.8	0	1.9
	χ^2 検定								

△p<0.1 ○p<0.07 ※p<0.05

表9 両親の遊戯活動（スポーツ活動）と日常生活の関連

親の活動 子供の日常生活		男 児				女 児			
		父		母		父		母	
		している	していない	している	していない	している	していない	している	していない
食 欲	ある	19.0	26.1	7.0	38.5	12.3	26.6	6.7	34.2
	ふつう	21.2	26.1	3.2	43.9	24.0	32.6	8.7	46.3
	ない	2.2	5.4	1.0	6.4	1.9	2.6	0	4.1
	χ^2 検定								
寝 っ ぎ	よい	26.2	34.4	7.0	54.3	20.0	29.8	8.3	41.0
	ふつう	13.1	21.3	3.2	30.7	15.5	26.5	5.1	37.2
	わるい	3.3	1.7	1.0	3.8	2.5	5.7	1.3	7.1
	χ^2 検定								
テ レ ビ 視 聴	30分以内	2.6	4.1	0	6.1	20.0	20.2	0.7	5.2
	30分～1時間	8.7	16.9	3.1	24.4	14.0	23.9	6.5	28.1
	1～2時間	16.9	20.6	5.6	32.5	4.6	14.0	2.6	33.4
	2～3時間	9.2	11.8	1.5	17.8	0	3.3	4.6	15.0
	3時間以上	4.6	4.6	0.4	8.6	0	0	0	3.9
χ^2 検定					※				
行 動	活発	25.0	32.2	8.8	49.5	26.8	29.4	10.3	44.6
	ふつう	17.2	25.0	2.2	39.0	11.1	30.0	4.5	38.7
	おとなしい	0	0.6	0	0.5	0.7	2.0	0	1.9
	χ^2 検定					※			

※p<0.05

子供と遊戯活動について (II)

表10 親子単位遊戯活動 (音楽活動) と日常生活の関連

親子単位 活動 子供の 日常生活	男			児			女			児			
	父			母			父			母			
	よくする	ふつう	しない	よくする	ふつう	しない	よくする	ふつう	しない	よくする	ふつう	しない	
食欲	ある	5.5	16.9	24.0	10.6	19.6	15.3	0.6	14.8	23.2	7.6	19.8	12.2
	ふつう	2.2	15.3	28.5	5.8	20.1	21.2	3.9	19.4	32.9	17.2	25.5	12.7
	ない	1.1	2.7	3.8	0.5	5.3	1.6	0	2.6	2.6	2.5	1.9	0.6
	χ^2 検定	○											
寝つき	よい	6.6	24.2	30.2	12.2	29.4	21.3	2.6	15.4	31.4	12.6	23.3	13.2
	ふつう	1.1	8.8	23.1	4.8	13.3	13.8	1.9	17.3	23.1	12.6	20.1	9.4
	わるい	1.1	2.2	2.7	0	2.6	2.6	0	3.8	3.1	1.9		
	χ^2 検定	△											
テレビ視聴	30分以内	0	3.6	2.6	1.0	3.5	2.0	0	1.3	3.2	2.6	1.9	7.1
	30分~1時間	3.1	11.9	10.8	4.5	10.0	11.0	2.6	11.7	20.8	13.5	14.7	11.5
	1~2時間	2.6	13.9	22.7	6.5	21.0	12.5	1.3	13.7	23.5	9.0	17.2	4.5
	2~3時間	2.6	5.2	12.4	3.5	8.5	7.5	0.6	8.4	9.1	4.5	9.6	1.3
	3時間以上	0.3	2.1	6.2	1.5	2.5	4.5	0	1.9	1.9	0	2.6	0
χ^2 検定							***						
行動	活発	7.3	17.9	33.0	12.4	22.7	23.2	2.6	22.6	30.3	15.3	24.9	14.6
	ふつう	1.1	16.8	23.5	3.8	22.2	15.1	1.3	13.5	27.2	12.1	20.4	10.2
	おとなしい	0	0	0.4	0.6	0	0	0.6	0.6	1.3	1.3	0.6	0.6
	χ^2 検定	※											

△p<0.1 ○p<0.07 ※p<0.05 ***p<0.001

表11 親子単位遊戯活動 (スポーツ活動) と日常生活の関連

親子単位 活動 子供の 日常生活	男			児			女			児			
	父			母			父			母			
	よくする	ふつう	しない	よくする	ふつう	しない	よくする	ふつう	しない	よくする	ふつう	しない	
食欲	ある	11.4	18.4	17.3	8.5	22.3	15.4	6.4	17.2	15.3	5.0	19.3	15.5
	ふつう	6.0	20.0	20.0	4.8	22.9	19.2	10.2	24.1	21.7	8.7	29.8	16.8
	ない	0.1	4.3	1.6	0	4.3	2.6	1.3	2.5	1.3	0.6	3.7	0.6
	χ^2 検定												
寝つき	よい	13.6	27.2	20.7	9.6	32.6	19.8	12.0	19.1	17.7	8.6	25.2	15.3
	ふつう	4.4	12.0	16.9	3.7	13.9	15.0	4.4	20.9	17.7	4.9	22.7	14.7
	わるい	0.3	3.8	1.1	0	3.2	2.2	1.3	4.4	2.5	0.6	4.9	3.1
	χ^2 検定	△											
テレビ視聴	30分以内	0.5	6.6	1.5	0.5	4.0	2.0	0.6	3.2	1.3	0	2.5	2.5
	30分~1時間	4.6	13.8	9.7	4.0	12.1	10.6	10.9	13.9	10.2	6.8	18.0	9.9
	1~2時間	7.1	13.8	14.3	5.0	23.1	11.6	4.4	18.5	15.9	5.0	21.0	11.8
	2~3時間	4.1	8.7	7.7	2.5	9.1	7.0	1.9	7.7	7.7	2.5	8.1	7.5
	3時間以上	1.5	1.0	5.1	0.5	2.5	5.5	0	1.3	2.5	0	2.5	1.9
χ^2 検定	○												
行動	活発	14.4	22.8	21.7	9.8	27.9	20.8	10.8	27.4	18.5	9.3	29.0	17.9
	ふつう	2.8	20.0	17.8	2.7	21.9	16.4	6.4	15.9	19.1	4.3	22.2	14.8
	おとなしい	0.5	0	0	0.5	0	0	0.6	1.3	0	0.6	1.9	0
	χ^2 検定	**			※								

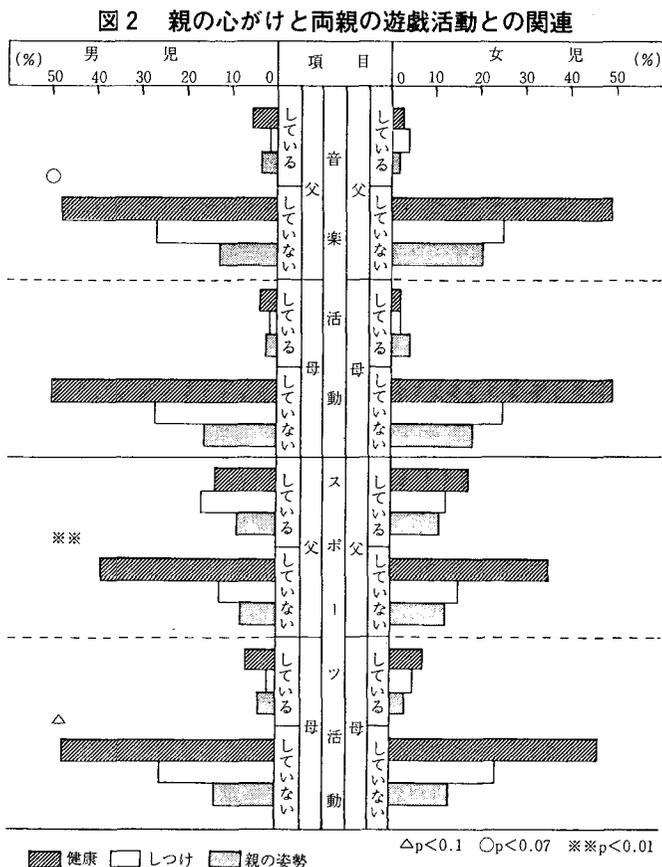
△p<0.1 ○p<0.07 ※p<0.05 ***p<0.001

3. 遊戯活動と親の心がけについての検討

両親の遊戯活動と親子単位による遊戯活動と親が子供に対し日常心がけていることとの関連を χ^2 検定により検定した。第2図～第3図に示すとおりである。

第2図は親の心がけを中心に現在の両親の遊戯活動をみたものである。男児においては、現在音楽活動をしている項目で7%、父親がスポーツ活動をしている項目で1%、母親がスポーツ活動をしている項目で10%レベルでそれぞれ有意な差が認められた。女兒においては、両親の遊戯活動の項目で有意な差がみられなかった。

第3図は親の心がけを中心に親子単位の遊戯活動をみたものである。男児においては、母親と一緒に音楽活動をする項目で7%、父親と一緒にスポーツ活動をする項目において5%レベルでそれぞれ有意な差がみられた。女兒においては、親子単位の遊戯活動の項目に有意な分布差はなかった。



4. 日常生活と親の心がけとの関連

子供の日常生活と子供に対する親の心がけとの関連を χ^2 検定により検討した。

第4図は親の心がけを中心に日常生活をみたものであり、男児においては、テレビ視聴時間、女兒では食欲の項目に7%、5%レベルでそれぞれ有意な差がみられた。男女児ともに寝つき、行動の活発性の項目において有意な分布はみられなかった。

図3 親の心がけと親子単位遊戯活動との関連

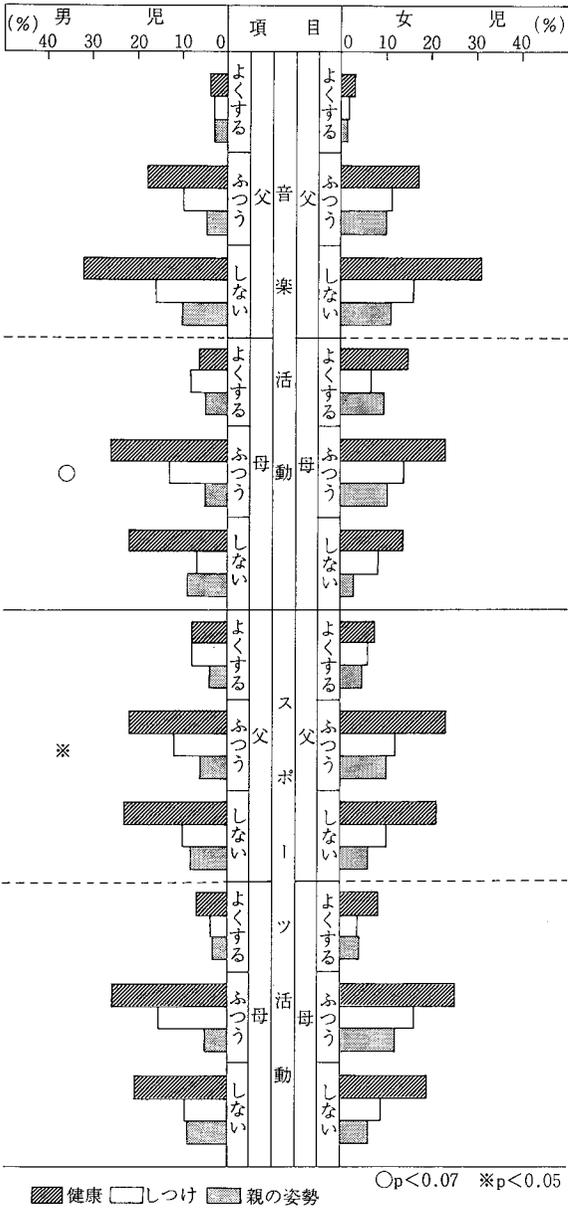
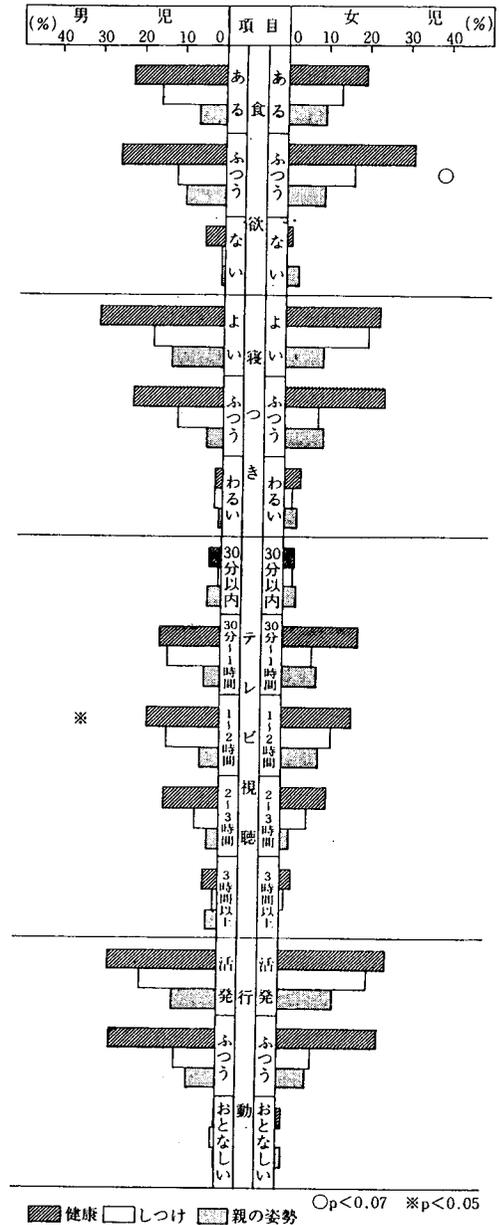


図4 親の心がけと日常生活との関連



考 察

児童期について、今日我々が考えているような考え方をした主な考案者の一人は、ジャンジャック・ルソーであると考えられる。つまり「児童期は、見たり、考えたり、感じたりといったことが思いどおりにできる時期であり、子供達が持っているそれらを大人のものと取り替えようとするほど愚かなことはない。」と書き論じている。更に、E・B・ハーロックによれば「子供の発達に不可欠な要件である健康

と幸福が、ある程度、身体的活動を伴うあそびに依存している。」すなわち、遊戯活動を通して、心身の鍛練が行なわれ、仲間との交流が促進され、人間関係の基盤づくりに参加できるのであろう。又、子供の育った場は、原則として家庭、施設、地域社会の三つより構成されて、それぞれ他によって代替し得ない独自の機能をもちながら、相互に関連しあって、子供の望ましい成長発達を促すべきであると考えられる。

現実に子供の日常生活において食欲は女兒で年齢が増すごとに割合が減り、寝つきがよいのは男児で年齢が増すごとに割合が高くなっていった。テレビ視聴時間については、男女児ともに1日に1～2時間視聴するの割合が高かった。行動の活発性については、男児は年齢が増すごとに高く、女兒は年齢が増すごとに低い傾向にあった。日常生活の中で、生理的リズムを大切にすることにより、毎日の行動が活発化し、健康が守られ健やかな成長が期待できると考えられる。行動が活発で寝つきがよい、正にこれは子供本来の姿ではないだろうか。友達と活発に遊びながら、他人への順応や協調、また他人に適應するために必要な社会行動を学習し発達させていくことができると思われる。子供の遊戯活動の中の音楽を聴く、楽器の使用については、男女児ともに約60%の児が一日に30分位は音楽鑑賞し、男児の50%の児は一日の中での楽器使用の時間を持たなかった。又、歌唱については、各年齢段階で女兒が男児に比べ割合が高かった。スポーツ活動については、サッカー、野球、ドッジボール等運動量の多いあそびが男児、ボール、なわ、ごっこあそび等、小さな筋力及び強さが強調されるあそびは女兒、それぞれ多い傾向があった。砂場、つみ木、固定遊具、自転車等は男女児ともに同じ傾向であった。遊戯活動として全体的見地で考えると、行動的でしかも大筋を使うあそび、強さとスピードのあるあそびは男児、それに比し、リズム、正確なタイミング、身体コントロール等必要なあそびは女兒がそれぞれ好んであそんでいる傾向にあった。

一方両親については、約70%の両親が仕事をもち、年齢は30代が80%±3%を示し、毎日多忙ながら遊戯活動の中で40%の父親がスポーツ活動を実施していた。親子単位実施については約70%の母親が何らかの形で実施していた。更に、子供に対しての心がけについては、男児は、健康、しつけ、親の姿勢に対し、女兒は、しつけ、健康、親の姿勢で割合が高かった。上田等が家庭内刺激を7つの側面より比較発表したのが、おもちゃ、設備、そして、子供への愛情、思いやり、ほこり等の刺激については子供同志あまり差がなかったが、両親が比較的社會人として行動を刺激するような働きかけをし、子供の生活リズムを決めたり、子供に適合した他方面の刺激を与えている児に、健康で発達順調な子供が多かったと言っている。家庭とは言うまでもなく、家族員の間関係の紐帯を象徴的に示す概念だが、最近では、核家族、少子、共働き家族という構造的にも機能的にも“家族”という人間関係をダイナミックに発展させていく働きが弱くなっており、特に親子単位で遊戯活動をより活発にすることで生涯にわたり、用いなければならない身辺処理能力（生活能力）の基礎を養われるものと思われる。子供に対しての親の心がけで、男児は健康、女兒はしつけがそれぞれ高いが、遊戯活動を中心として、互いに交流しきずなを深めあっていくことで、子供の言語的コミュニケーションを促し環境に対する好奇心や関心を増大させながら、いずれは友達と「同一視、共感、愛情」といった人間関係を支える基本的感情、社会的感情を育てられることと思われる。

日常生活と遊戯活動の関連について、それぞれの角度からみた。両親の現在活動実施では、女兒で寝つき、テレビ視聴、行動面、男児で寝つき、心がけとそれぞれの項目に有意性があった。親子単位実施においては、女兒はテレビ視聴、男児は遊戯活動の中でもスポーツ活動の中でも寝つき、テレビ視聴、

行動力の3項目、音楽活動では食欲の項目にそれぞれ有意性があった。近年社会や生活の急激な変化は様々な影響を与えているが、その中で子供の生活に最も直接的な影響を与えたのは、家庭の変化であろう。親の生活の多忙化現象が子供の家庭での変化の問題点であると考えられる。その中で、テレビ視聴については、1958年より5年間、文部省により調査がなされた。その頃より長時間視聴が問題にされ、「幼児が未発達であり、その経験領域が狭いだけに、具体的な映像をもって幼児に迫るテレビの影響は、決して少なくない。」と指摘している。一日の睡眠時間、遊戯活動時間等にもかなり強く影響があると考えられる。特に親子で活動しながら日常生活へのチェックは男児が女児に比し多項目であるが、父親は、はっきり善と悪、よいものとだめなものを弁別しながら、個人という意識を大事にすることを子供に教え、母親は、人間関係においても、全部包み込み、平等に考えること等、役割分担しながら活動を通じながら、遊戯性を高めつつ楽しさ、面白さを体得しうる様期待するものであろう。

両親の日頃の心がけを中心に遊戯活動をみたが、スポーツ活動を通じての親子のふれあいをしながら、基本的な生活習慣を身につけさせる土台づくり、又、父親の生活態度から、子供は情操的素地を取り入れ、実に身につけることが男児に多くみられた。女児に比し男児は毎日の言葉、語りかけよりも活動をとめないながら身につけていく様にも思われた。

親の常日頃の心がけにおいて、男児はテレビ視聴、女児は食欲に有意差が認められたが、健康な身体をつくる基となる食事と、戸外で友達と熱中してあそぶ生活リズムに、多忙生活現象のある親も、日頃子供達には気づきばりしているであろう。

アドルフ・ポルトマン (Adlf・Portman) が指摘しているが、人間の子供は生活能力の面では非常に未熟な状態で出生し、長い年月かけて大人になっていく存在である。この成長、発達の過程の生活行動の形式は主として、脳神経系の成熟に依存するばかりでなく、子供を取りまく環境因子にも深く関係している、と発表している。又、子供のときに豊かな遊戯活動の体験を持ち、想像の楽しみと創造の喜びとを十分に経験することのできた子供は、一時期、創造的思考に抑制が加えられることがあったとしても、いずれ回復が容易にもたらされるし、子供の遊戯性と創造性は、親の遊戯活動についての考え方や、家庭環境の整え方が密接に関連していると考えるのはきわめて当然といえるであろう。

ま と め

遊戯活動の必要性の中で幼児期にその素地をつくり情操面に大きな役割を果たしている。子供を取り巻く生活環境、特に子供自身の生活と親の常日頃子供に対しての心がけを中心にとりあげ関連をみた。

1. 日常生活で食欲は女児は年齢が増すごとに割合が減少、寝つきは男児が年齢増すごとに割合が高くなった。
2. 行動は男児が年齢が増すごとに活発性が高く、女児は低かった。
3. 親子単位の遊戯活動は多忙生活の中でも70%の親が実施していた。
4. 子供に対しての心がけは、男児は健康、女児はしつけが高かった。
5. 毎日のテレビ視聴については父親、母親のチェック度が特に高く有意であった。
6. 男児は両親の毎日の言葉や会話を通してよりも、親子活動の中での日常生活へのチェックが女児よりも高く有意性が認められた。

稿を終わるにあたり、御協力いただいた福森先生に謝意を表します。

文 献

- (1) 土谷, 谷本, 荒木: 子供の遊戯活動について (I) 中国短期大学紀要第20号
- (2) 小関康之: 子供の発達と家庭 中央法規出版
- (3) 正木健雄: からだをみつめる 大修館
- (4) 日本保育学会: 保育者養成 フレーベル館
- (5) 日本保育学会: 第9回大会研究論文集
- (6) 浅香淳: 季刊 音楽教育研究 54
- (7) 浅香淳: 季刊 音楽教育研究 55
- (8) 浅香淳: 季刊 音楽教育研究 56
- (9) 浅香淳: 季刊 音楽教育研究 57
- (10) 日本体育学会編: 体育の科学 1981 Vol 31・4
- (11) 日本体育学会編: 体育の科学 1981 Vol 31・5
- (12) 日本体育学会編: 体育の科学 1988 Vol 38・8
- (13) 佐野 豪: 楽しい運動あそび 大修館
- (14) 西頭三雄: 遊びと幼児期 福村出版
- (15) 田中恒男: 子供の精神衛生 杏林書院
- (16) 肥田野直: 統計学 培風館
- (17) 波中忠郎: 統計の手引 槇書院
- (18) 待井, 鈴木共編: 子供の発達と施設保育 中央法規出版
- (19) D. エルキン著: 急がれる子供たち 家政教育社
- (20) 丹羽劭昭: 子供と健康づくり 中央法規出版
- (21) 伊藤, 板野編: 子供と遊び 日本文化科学社